

中学校
3年

野球選手になりきり 本物のバッティングフォームを手に入れよう！

藤井寺市立藤井寺中学校

教科

保健体育

単元名

ベースボール型 ソフトボール

本時のねらい

タブレット PC を用いて、プロ野球選手のバッティングフォームを視聴し、グループのメンバーとバッティングフォームを研究、分析することで、より強く、より遠くへ飛ばすバッティング方法と、理想のバッティングフォームを考える。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

最初にプロ野球選手のバッティングフォームを個別に視聴し、「強く遠くへ飛ばす」スイングはどのようなものかを認識させる。次に視聴したバッティングフォームでどのポイントを意識して自分自身のスイングに活かしていくかを、ICT を使ってグループのメンバーと協議し、協働学習を通してバッティング理論を理解する。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット PC ・ロイロノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (15分)	・準備運動 (ランニング・ラジオ体操) ・本時内容の確認 ・グループ活動の説明・注意事項	・ロイロノートのグループ作成を行い、プロ野球選手のバッティングフォームの動画を予めグループ内に送信しておく。
展開 (25分)	・グループに分かれて、他者のフォームの分析 ・プロ野球選手の動画視聴 ・グループ学習 プロ野球選手のフォームの分析 ・グループ学習 スイング練習 バッティングフォームの動画撮影、分析	・前回、ロイロノートで提出した野球選手のバッティングフォームの分析資料をグループで確認する。 ※提出箱を回答共有状態にする。 ・プロ野球選手のスイングのポイント「頭の位置・腕の動き・手首の動き・腰の動き・下半身の動き・両足の動き (特に軸足)」の説明を行い、プロ野球選手のバッティングフォームを視聴する。 ・視聴した動画をもとに、グループのメンバーとプロ野球選手のバッティングフォームについて「強く遠くへ飛ばす」スイングをするには、体のどの部分がポイントになるのかを分析する。 ・分析したフォームのポイントを意識しメンバーと交互にスイングの撮影とチェックを行う。スイングチェックの時、「ブン！」と強く風を切る音が鳴っているかを確認。 ・動画提出前に、分析して意識できていた点などをロイロノート機能の付箋を使って、生徒間で共有する。 意識してできていた点→赤付箋 意識してできなかった点→青付箋 自己評価→緑付箋
まとめ (10分)	・動画の編集・提出 ・感想の提出 ・次回の内容確認	・0.5 倍速にして付箋を貼ってからロイロノートの提出箱に提出する。 ロイロノートで感想を提出する。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1 : スイングフォームを撮影している様子



写真 2 : スイング時の風切り音をグループで確認している様子



写真 3 : 生徒間通信の機能を用いて、他者の動画に付箋を送っている様子

児童生徒の反応や変容

既に、生徒はタブレット PC の使用には慣れているので、ロイロノート上で動画の確認や提出などの作業がスムーズにできていた。教科書の見本や、教員が見せる手本よりも、実際のプロ野球選手の動画を各自でスロー再生やリピート再生をしながら見ることで、生徒たちは、何をどうすればよいかというイメージを持ちやすくなり、より興味を持って、主体的に学習活動に取り組んでいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

今回の授業は、映像を撮影して編集し、ロイロノート上で提出、グループ内で相互評価した後、それを踏まえて再編集して提出させるという流れにした。ICT 活用を授業の中に組み込んでいく際に、運動量の確保は授業を進めていく上で大事なポイントであったが、ICT を効果的に活用することで、今まで時間がかかっていたことが簡単にできるようになり、生徒たちが意欲的に活動し、運動する時間を十分に確保して学ぶことができた。